

平成 16 年度版工事歩掛要覧<土木編 上> その 1

18 頁	表 I 2-11 表中	修正前	機械区分 連続地中壁用機械 [クローラ式アースオーガ]	規格 表 I 2-10 参照	クレーン名称 クローラクレーン 油圧駆動式ウィンチ・リジブ型	クレーン規格 55 t 吊
		修正後	機械区分 連続地中壁用機械 [クローラ式アースオーガ]	規格 表 I 2-10 参照	クレーン名称 クローラクレーン 油圧駆動式ウィンチ・リジブ型	クレーン規格 <b>50</b> t 吊
21 頁	表 I 2-15 表中	修正前	区分 <b>6</b>	現場条件 24 時間勤務 実勤 24h(交替要員あり)	計算式 $3.4A \times \text{必要日数} \times N$	
		修正後	区分 <b>6</b>	現場条件 24 時間勤務 実勤 24h(交替要員あり)	計算式 $3.5A \times \text{必要日数} \times N$	
151 頁	表 II 1-88 表中	修正前	作業の種類 埋戻し	作業の内容 —	機械名 "	規格 排出ガス対策型 クローラ型 山積 0.28m <sup>3</sup> 平積 (0.2m <sup>3</sup> )
		修正後	作業の種類 埋戻し	作業の内容 —	機械名 "	規格 排出ガス対策型 クローラ型 <b>後方超小旋回型</b> 山積 0.28m <sup>3</sup> 平積 (0.2m <sup>3</sup> )
213 頁	表 II 2-92 表中	修正前	名称 普通作業員	規格	単位 人	数量 15.6
		修正後	名称 普通作業員	規格	単位 人	数量 <b>1.56</b>
490 頁	(1) 適用範囲	修正前	本資料はドロップハンマ杭打ちによる <b>PC 杭</b> 、 <b>RC 杭</b> の施工に適用する。なお、杭径は 200~300 mm、杭長は 2~6m で杭長の 80~100% の打ち込みとする。			
		修正後	本資料はドロップハンマ杭打ちによる <b>RC 杭</b> の施工に適用する。なお、杭径は 200~300 mm、杭長は 2~6m で杭長の 80~100% の打ち込みとする。			
543 頁	参考 (型枠工の適用について)	修正前	適用 <b>㊟</b> -1 型枠工 鉄筋構造物 (ボックスカルバート、L 型・逆 T 型擁壁、張出し式・壁式橋脚) の施工にかかる平均設置高 30m 以下の型枠工および鋼橋床版、コンクリート桁、砂防、ダム、トンネル等で標準歩掛 (型枠工) の設定されている工種に適用。一般土木工事の構造物に適用。			
		修正後	適用 <b>㊟</b> -1 型枠工 鉄筋構造物 (ボックスカルバート、L 型・逆 T 型擁壁、張出し式・壁式橋脚) の施工にかかる平均設置高 30m 以下の型枠工に適用、鋼橋床版、コンクリート桁、砂防、ダム、トンネル等で標準歩掛 (型枠工) の設定されている工種には適用しない。一般土木工事の構造物に適用。			

719 頁	表III2-96 表中	修正前	名 称	規 格	単 位	数 量			
			(ベースマシン) バックホウ	排出ガス対策型 クローラ型 山積 0.8m <sup>3</sup> (平積 0.6m <sup>3</sup> )	〃	13.4			
		修正後	名 称	規 格	単 位	数 量			
			<b>掴み装置</b> (ベースマシン) バックホウ	<b>1m級</b> 排出ガス対策型 クローラ型 山積 0.8m <sup>3</sup> (平積 0.6m <sup>3</sup> )	〃	13.4			
1,046 頁	(5) 諸雑費	修正前	諸雑費は、吸泥管、吸泥ホース、その他材料の費用であり労務費および運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。						
		修正後	諸雑費は、スコップ、ほうき等の費用であり、労務費、機械損料および運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。						
1,057 頁	表IV3-222 表中	修正前	名 称	規 格	単 位	数 量	金 額	摘 要	
		材料費		式	1			必要量を計上	
修正後	材料費	名 称	規 格	単 位	数 量	金 額	摘 要		
				<u>m</u>	<b>100</b>			必要量を計上	
1,187 頁	表IV6-73 表中	修正前	名 称	規 格	単 位	数 量	金 額	摘 要	
			コンクリートプレッサ損料		h	1			
			(アジテータ損料)		〃	1			
		諸 雑 費		式	1			(まるめ)	
		計							
		修正後	名 称	規 格	単 位	数 量	金 額	摘 要	
<b>機 関 車 損 料</b>			<u>バッテリー</u>	<b>h</b>	<b>1</b>				
			<u>t</u>						
コンクリートプレッサ損料		〃	1						
(アジテータ損料)		〃	1						
諸 雑 費		式	1			(まるめ)			
計									
1,301 頁	表IV6-292 表中	修正前	名 称	規 格	単 位	数 量	金 額	摘 要	
		機関車損料	バッテリー式	6 t	h	1			
修正後	名 称	規 格	単 位	数 量	金 額	摘 要			
機関車損料	バッテリー式	6 t	h	1			<b>整流器付</b>		
1,301 頁	表IV6-293 表中	修正前	名 称	規 格	単 位	数 量	金 額	摘 要	
		機関車損料	バッテリー式	12 t	h	1			
修正後	名 称	規 格	単 位	数 量	金 額	摘 要			
機関車損料	バッテリー式	12 t	h	1			<b>整流器付</b>		
1,335 頁	㊦ iii) (注)2	修正前	部材とは、……中略……なお、詳細については、「鋼道路橋数量集計マニュアル(案)」(平成 15 年 7 月 国土交通省)を参照する事。						
		修正後	部材とは、……中略……なお、詳細については、「鋼道路橋数量集計マニュアル」(平成 15 年 3 月 国土交通省)を参照する事。						
1,336 頁	㊦ (注)	修正前	対傾構部材数、横構部材数については、「鋼道路橋数量集計マニュアル(案)」(平成 15 年 7 月 国土交通省)を参照する事。						
		修正後	対傾構部材数、横構部材数については、「鋼道路橋数量集計マニュアル」(平成 15 年 3 月 国土交通省)を参照する事。						

平成 16 年度版工事歩掛要覧<土木編 上> その 2

294 頁	表 II 2-295 表中	修正前	名 称 ハンマドリル損料	規格 38mm	単位 日	ハンマドリル 1.7																																				
		修正後	削 除																																							
294 頁	表 II 2-295 表中	修正前	名 称 諸 雑 費	規格	単位 %	ハンマドリル 23																																				
		修正後	名 称 諸 雑 費	規格	単位 %	ハンマドリル 24																																				
295 頁	表 II 2-297 表中	修正前	名 称 ハンマドリル損料	規格 38mm	単位 日	数量 1.7																																				
		修正後	削 除																																							
341 頁	表 II 3-14 表中	修正前	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">擁壁種類</th> <th>小型 擁壁 A</th> <th>小型 擁壁 B</th> <th colspan="2">重力式擁壁</th> <th>もたれ 式擁壁</th> <th>逆 T 型 擁壁</th> <th>L 型 擁壁</th> </tr> <tr> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>0.5~1m まで</th> <th></th> <th>1m を超え 2m 未満</th> <th>2~5m まで</th> <th>3~8m まで</th> <th>3~10m まで</th> <th>3~7m まで</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">諸雑費</td> <td>一般足場または足場なし</td> <td rowspan="2">"</td> <td rowspan="2">11.7</td> <td rowspan="2">10.2</td> <td rowspan="2">19.3</td> <td>24.2 (17.3)</td> <td>22.3 (16.6)</td> <td colspan="2">26.2 (17.6)</td> </tr> <tr> <td>手摺先行型 枠組足場</td> <td>25.1</td> <td>-</td> <td>28.7</td> </tr> </tbody> </table>							名称	擁壁種類		小型 擁壁 A	小型 擁壁 B	重力式擁壁		もたれ 式擁壁	逆 T 型 擁壁	L 型 擁壁	規 格	単 位	0.5~1m まで		1m を超え 2m 未満	2~5m まで	3~8m まで	3~10m まで	3~7m まで	諸雑費	一般足場または足場なし	"	11.7	10.2	19.3	24.2 (17.3)	22.3 (16.6)	26.2 (17.6)		手摺先行型 枠組足場	25.1	-	28.7
		名称	擁壁種類		小型 擁壁 A	小型 擁壁 B	重力式擁壁		もたれ 式擁壁		逆 T 型 擁壁	L 型 擁壁																														
規 格	単 位		0.5~1m まで		1m を超え 2m 未満	2~5m まで	3~8m まで	3~10m まで	3~7m まで																																	
諸雑費	一般足場または足場なし	"	11.7	10.2	19.3	24.2 (17.3)	22.3 (16.6)	26.2 (17.6)																																		
	手摺先行型 枠組足場					25.1	-	28.7																																		
修正後	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">擁壁種類</th> <th>小型 擁壁 A</th> <th>小型 擁壁 B</th> <th colspan="2">重力式擁壁</th> <th>もたれ 式擁壁</th> <th>逆 T 型 擁壁</th> <th>L 型 擁壁</th> </tr> <tr> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>0.5~1m まで</th> <th></th> <th>1m を超え 2m 未満</th> <th>2~5m まで</th> <th>3~8m まで</th> <th>3~10m まで</th> <th>3~7m まで</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">諸雑費</td> <td>一般足場または足場なし</td> <td rowspan="2">"</td> <td rowspan="2">11.7</td> <td rowspan="2">10.2</td> <td rowspan="2">19.3</td> <td>24.2 (17.3)</td> <td>22.3 (16.6)</td> <td colspan="2">26.2 (17.6)</td> </tr> <tr> <td>手摺先行型 枠組足場</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>25.1</td> <td>-</td> <td>28.7</td> </tr> </tbody> </table>							名称	擁壁種類		小型 擁壁 A	小型 擁壁 B	重力式擁壁		もたれ 式擁壁	逆 T 型 擁壁	L 型 擁壁	規 格	単 位	0.5~1m まで		1m を超え 2m 未満	2~5m まで	3~8m まで	3~10m まで	3~7m まで	諸雑費	一般足場または足場なし	"	11.7	10.2	19.3	24.2 (17.3)	22.3 (16.6)	26.2 (17.6)		手摺先行型 枠組足場	-	-	25.1	-	28.7
名称	擁壁種類		小型 擁壁 A	小型 擁壁 B	重力式擁壁		もたれ 式擁壁		逆 T 型 擁壁	L 型 擁壁																																
	規 格	単 位	0.5~1m まで		1m を超え 2m 未満	2~5m まで	3~8m まで	3~10m まで	3~7m まで																																	
諸雑費	一般足場または足場なし	"	11.7	10.2	19.3	24.2 (17.3)	22.3 (16.6)	26.2 (17.6)																																		
	手摺先行型 枠組足場					-	-	25.1	-	28.7																																
449 頁	③ ㉑ ㉒	修正前	1 組当たり 9h の 2 交替、18h 勤務を標準とし、これにより難い場合は別途計上する。また、1 組当たりの実労働時間は 8h とし、1 の組の作業時間帯は 8 時~17 時、2 の組の作業時間帯は 17 時~2 時とする。																																							
		修正後	1 日 (2 組) 18 h 勤務、1 組当たり 9 h で実労働時間は 8 h とし、1 の組の作業時間帯は 8 時~17 時、2 の組の作業時間帯は 17 時~2 時とする。																																							
449 頁	③ ㉓ ㉔	修正前	1 組当たり 12h の 2 交替、24h 勤務を標準とし、これにより難い場合は別途計上する。また、1 組当たりの実労働時間は 11h とし、1 の組の作業時間帯は 8 時~20 時、2 の組の作業時間帯は 20 時~8 時とする。																																							
		修正後	1 日 (2 組) 24 h 勤務、1 組当たり 12 h で実労働時間は 11 h とし、1 の組の作業時間帯は 8 時~20 時、2 の組の作業時間帯は 20 時~8 時とする。																																							

488 頁	表Ⅱ4-200	修正前	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
			材 料 費		t		
			修理費および損耗費	山留主部材	〃	1	
			副 部 材 賃 料	副部材(A)	〃	1	
			修理費および損耗費	〃	〃	0.22 (0.67)	表Ⅱ-7-13
			副 部 材 賃 料	副部材(B)	〃	0.22 (0.67)	〃
			パイプロハンマ運転	〃	0.04 (0.06)	〃	
		修正後	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
			材 料 費		t		
			修理費および損耗費	山留主部材	〃	1	
副 部 材 賃 料	副部材(A)		〃	<u>0.22 (0.67)</u>	<u>表Ⅱ-7-13</u>		
修理費および損耗費	〃		〃	0.22 (0.67)	〃		
副 部 材 賃 料	副部材(B)		〃	<u>0.04 (0.06)</u>	〃		
731 頁	表Ⅲ2-117 表中	修正前	・中詰作業を行わないもの				
		修正後	・中詰作業を行わないもの <u>(ただし、連結部分にだけ中詰作業を行うものは含む)</u>				
837 頁	表Ⅲ4-20 表中	修正前	名 称	単 位	数 量		
		特殊作業員	〃	1			
		修正後	名 称	単 位	数 量		
			特殊作業員	〃	<u>2</u>		